

マーケットの動き（2026年9月14日～9月23日）

先週の為替市場は、9月11日比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。原油高や米長期金利の上昇を背景に、円安・ドル高が進みました。16日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）では0.25%の利上げが決定され、追加利上げの可能性も示されました。23日には米景気指標が市場予想を上回ったことで追加利上げ観測が強まり、ドル円相場は一時1ドル＝158円台まで上昇しました。ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルでは下落しました。

投資環境見通し（2026年9月）

米ドル、ユーロはともに円に対して当面の上値は抑えられる

米ドル：FRB（米国連邦準備制度理事会）による年内の利上げ観測が残ることや日本の財政拡張政策に対する懸念は円安圧力とみられます。しかし、日米通貨当局の円安阻止に向けた協調姿勢を背景に、ドルの円に対する当面の上値は抑えられるとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測に加え、日本の財政懸念を背景とした円安圧力が残るとみられます。しかし、日米通貨当局の円安阻止に向けた協調姿勢を背景に、ユーロの円に対する当面の上値は抑えられるとみています。

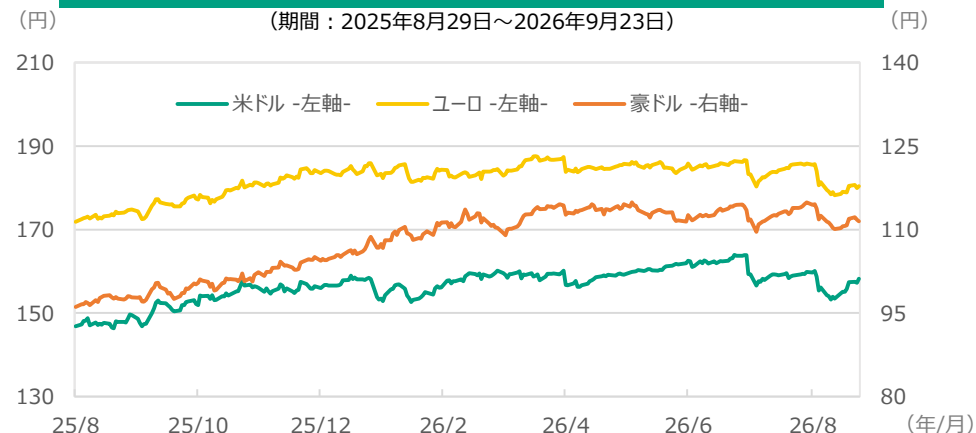
	9月23日	変動幅（円）			
		9月11日比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
米ドル/円	158.22	4.75	▲0.75	▲0.51	10.45
ユーロ/円	180.39	2.14	▲5.17	▲3.51	6.09

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202609_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>